日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

あの会に
出ていたそうだ
Ｔ県議
（はるみのワクワク川柳）

２０２２年９月20日総務企画危機管理委員会で質問

安倍元総理の国葬中止を知事公費出席やめよ　職員・県民に対し弔意の強制するな

小谷知也総務部長が「県では弔意を表するため県庁本庁舎に半旗を掲揚する。職員に対し黙とうを求めることや、教育委員会他執行機関に何らかの対応は求めない。」と答え、知事が公費で参列するのは、誰がどういう根拠で決めたのか問うと「安倍元総理は憲政史上最長の８年８か月にわたり内閣総理大臣の重責を担われたことを踏まえ公費で出席の判断をした」としました。安藤は、「憲法違反の国葬に16億６千万円もの血税を投入すること、安倍元首相が旧統一教会と最も癒着関係にあったことなどから政府は国葬を中止すべき」と主張しました。

ＪＲ赤字路線を守れ

輸送密度２０００人以下の赤字路線をＪＲが公表したことを受け、ＪＲローカル線を存続させ地域の再生・活性化のためにも赤字路線守れとの立場で県の対応を

奥田昌範交通政策課長は「県議会と連携を図りながら路線の維持と県民生活の足を確保するために取り組んでいく」と答弁しました。

８月の大雨による避難状況と、避難所運営の課題などを問う

安藤は弘前市内に47か所の避難所が開設され、栄町町会の自主防災組織が活躍した事例や家屋浸水が発生した小友地区で指定避難所には行けず近くの町会会館などに自主避難した事例を紹介しながら県の姿勢を質しました。

山上良一防災危機管理課長は「８月３日からの大雨災害では30市町村が避難所を開設し、そのうち27市町村で住民が避難した。被害者数の合計は５５１１人となり最大の避難者数が１００人を超えた市町村は11市町村となった。多い順に弘前市１２７６人、板柳町６１０人、深浦価値５７８人、鰺ヶ沢町４７９人」、「今後各市町村で成果・課題の振り返りが行われ適切に助言を行っていく」と答弁しました。

総務企画委員会

他に●むつ市の法定外普通税（核燃料税）について●青森県統計コンクールについて●不具合が解決されないままのオスプレイの小川原湖での訓練再開について●示されなかった六ケ所再処理工場のしゅん工時期についてを質問しました。

活動報告

9月7・14・23日
岩木・東目屋・相馬方面街宣

8日
津軽地区委員会で知事に対し「冠水りんご園地に対する支援を求める要望書」提出

21日
日本共産党県委員会・県議団で知事に対し「国葬に知事は見合わせる事・弔意の強制はしないこと」を求める要望書提出
県民の会で議長に対し「青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地にしない条例を求める請願書」42683筆の署名を添えてを提出

22日
実業高校農業経営科閉科式典

24日
憲法９条守れ市民集会
津軽地区委員会ジェンダー学習会

25日
中弘母親大会
町会役員会

定例県議会は9月21日から10月11日まで開かれました。安藤は29・5日に質疑、6日常任委員会、11日に一部反対討論を行いました。

10月8日
緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練

9日
大飯原発差し止め判決「樋口英明講演会」

10日
文学の丘まつり（写真Ｅ）

ほっとタイム

（孫全員集合）

コロナ第７波がやっと下降し始めほっとしています。この第７波に入る前の行動規制が緩和され始めた７月のはじめ東京の次兄から連絡が入り、お盆に両親と義姉が眠るお墓参りとひとり身になった長兄の喜寿祝をして励まそうと提案されました。長らくコロナで親戚が集まることなどできない時期が続いていたのでさわやかな感動を覚えました。それならと我が家も夫が亡くなり今秋で丸４年になり、家族が集まっての３回忌もできずに来たので、意を決して家族大集合でのお墓参りを呼びかけました。計画後感染者が増え続け心配しましたが、東京での集まりも、９月の弘前での我が家の家族大集合も前後の検査もしながら何とか叶えることができました。

亡くなった人を偲び残されたものが集って語りあう。この当たり前のことを容易にできなくさせたコロナの脅威を改めて感じるとともに、心を癒すために遺族が集うことの大切さを身にしみて感じました。

我が家の大集合は、同居する次男家族に仲間入りした１歳７か月の双子ちゃんをみんなに合わせてあげる機会でもありました。息子夫婦８人と孫11人そして私の総勢20人が集まりました。高２を頭に３歳になる県外の孫たちが双子ちゃんに会えて「めっちゃ可愛い！」と歓声をあげていました。20人で行ったお墓参りでは、５歳のサラちゃんお得意の犬のおまわりさんをみんなで大合唱し、私が「いのちの理由」を歌い亡き夫を偲びました。後で高２の孫が「ばあばの歌った歌いい歌だね。校長先生も好きな歌だって紹介してくれたよ」と教えてくれ嬉しくなりました。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
10：00～15：00（土・日・祝日休み　留守電対応）
Ｅメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/

９月の相談件数　２件
ホームページアクセス数 50,863 件